

# コウナゴ漁期前調査

平成 30 年 3 月 7 日～13 日のコウナゴ分布

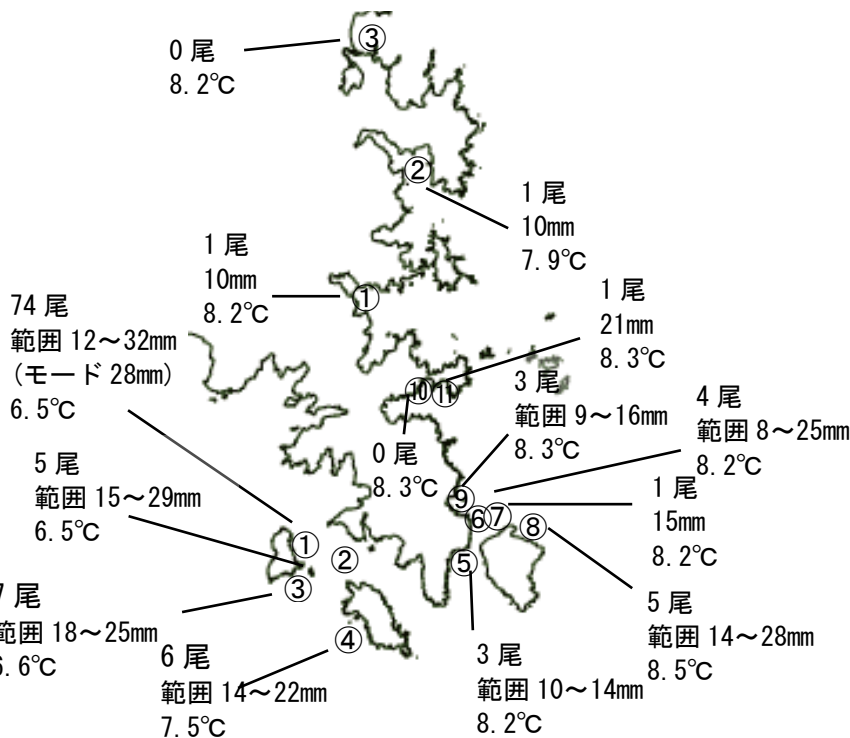


図 1 牡鹿半島周辺及び北部海域分布調査結果 (開洋)

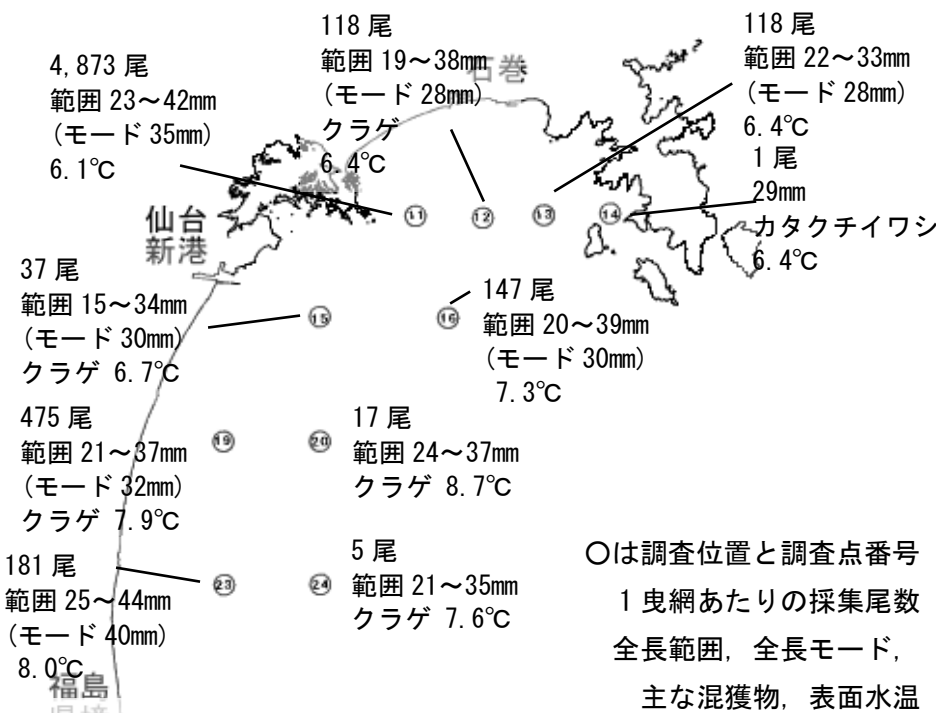


図 2 仙台湾分布調査結果 (みやしお)

平成 30 年 3 月 7 日から 13 日にかけて、県漁業調査指導船「みやしお」及び「開洋」により、コウナゴの漁場形成状況を把握するために調査を行いました。

調査方法は仙台湾内 10 調査点において、網口開口板を使用した中層曳網（水深 10m 層 10 分曳）、牡鹿半島周辺海域 11 調査点及び北部海域 3 調査点において小型中層曳網（表中層 10 分曳）を用いて行いました。

牡鹿半島周辺海域では全調査点での平均採集数は 9 尾となり、過去 10 年 (H20-H29) の平均値 67 尾を下回る結果となりました。体長の範囲は 8~32mm でモード（最頻値）は 28mm となり、表面水温は 6.5~8.5°C で透明度は 2~8m でした (図 1)。

今回初調査となる北部海域（女川湾以北）では女川湾と雄勝湾でそれぞれ 1 尾が採集され、体長は 10mm で表面水温は 7.9~8.2°C でした。

仙台湾海域では、平均採集数は 598 尾であり、去年の 210 尾を上回ったものの過去 10 年 (H20-H29) の平均採集数 3,384 尾を下回る結果となりました。体長の範囲は 15mm~44mm の範囲で、モード（最頻値）は 28mm となり、表面水温は 6.1°C~8.7°C で透明度は 4~6m でした (図 2, 表 1)。

仙台湾内は平年に比べ水温が低く推移していますが、沿岸域は暖水の影響により水温が高くなっています。今後、当センター発行の漁海況情報等を参考として下さい。

表 1 海洋観測結果

st	牡鹿半島周辺			仙台湾			女川湾	雄勝湾	志津川湾		
	4	7	10	12	15	19	24	1	2	3	
観測月日	3月7日	3月7日	3月7日	3月8日	3月13日	3月13日	3月13日	3月13日	3月13日	3月13日	
透明度(m)	4	7	7	4	5	5	6	4	5	4	
水深(m)	26	28	33	31	28	27	37	34	41	24	
水温	0m	7.5	8.2	8.3	6.3	6.7	7.9	7.6	8.2	7.9	8.2
	10m	7.89	8.24	8.25	6.38	6.60	7.25	6.94	8.26	8.30	8.47
	20m	8.25	8.19	8.27	6.62	6.75	6.88	7.03	8.49	8.47	8.46